

【自動車における】

断熱材 / 遮音・吸音材の基礎・評価技術とその高性能化技術動向

ヒートブリッジ 材料経時劣化 車用断熱材技術動向 吸音シート
 吸音天井 車室内侵入音の低減メカニズムと対策例

日時

2018年 3月6日 (火)

10:30 ~ 16:30

税込受講料

1名 48,600円

2名以上1名 45,360円

案内図



飯田橋駅下車 各徒歩約5分
 JR中央線(緩行線)
 地下鉄東西線(A5出口)
 地下鉄有楽町線・南北線(A4・B2a出口)
 都営地下鉄大江戸線(A4出口)

＜お申込要項＞

- ・参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX 電話、何れかにてお申込ください。
- ・お申込に際し、社名・部署名・受講者名 住所・連絡先(TEL・FAX・E-mail)をお知らせください。
- ・お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかをお願いします。
- ・受講料は講座後のお支払いも対応致します。(個人申込除く)
- ・開催日前14日以降のキャンセルはお受けできません。
- ・受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止となります。

会場 産業科学システムズ会議室(東京都千代田区富士見1-5-1)

講座の概要 ユーザの声を参考に、自動車、特に冷凍車の市場での使われ方を調査した結果、[1]ヒートブリッジ、ウレタンフォーム断熱性能経時劣化などから、「自動車用断熱材に必要な性能」を明らかにした。[2]これらをもとに、箱型・バン型冷凍車などの次期開発に向け、「スムーズな開発を行うための熱逃げ量予測技術」を確立した。[3]自動車の遮音・吸音の基礎理論をわかりやすく紹介し、その応用事例としてエンジン本体から発生した音がエンジンルーム内で音響増幅一重壁 遮音材を透過し、車室内に侵入するメカニズムと対策 車室内に入った音を吸音材で低減させるメカニズムと対策例 を紹介します。

プログラム

講師 愛知工業大学 工学部機械学科 教授 博士(工学) 谷本隆一氏
 (元)トヨタ車体(株)車両実験部 主査

- ・自動車・冷凍車の冷えに関する市場調査(断熱材)
- ・高断熱自動車(冷凍車中心)の開発と付随する技術・断熱素材の動向
- 1. 自動車からの熱逃げ量の定量・予測技術(ヒートブリッジ等)
- 2. 自動車用断熱材の基礎と必要な性能について(断熱性・吸音特性・経時劣化・コスト)
 - a. 発泡樹脂 b. 発泡ウレタンフォーム c. 断熱繊維 d. VIP(真空断熱材)
- 3. 上記材料等を用いた冷凍車の開発
- ・遮音・吸音理論
- 1. 遮音理論の基礎、吸音理論の基礎をわかりやすく紹介
- 2. 自動車の車内騒音寄与度解析結果
 - ・音響増幅防止による遮音性改善
 - 1. エンジンルーム内の音響増幅と車内音
 - 2. 共鳴型サイレンサーの開発事例
 - ・一重壁の遮音性改善
 - 1. ステフネス、質量則(マスロー)、コインシデンスと透過損失
 - 2. エンジンカバーの遮音性改善事例
 - ・内装材の遮音性改善
 - 1. カーペット、フェルトなどの振動伝達比と車内音低減効果
 - 2. 共振型カーペット(遮音材)の開発事例
- ・吸音対策
- 1. 室定数と車内音低減効果、室定数測定方法
- 2. 吸音シート、吸音天井の開発事例
 - ・音色の改善(強制力対策)
 - 1. 自動車における気になる音(ごろごろ音)
 - 2. エンジン懸架系、吸排気系、エンジン本体の改良による音色の改善
 - 3. 次世代電気自動車のモーター騒音低減

質疑応答

お申込・お問合せは

主催 ISS 産業科学システムズ

TEL (03)3264-5635 FAX (03)3264-5675

<http://www.ebrain-jp/>

E-mail: education@ebrain-j.com

申込書 FAXは 03-3264-5675

講座参加申込書 断熱材 / 遮音・吸音材の基礎・評価技術とその高性能化技術動向

セミナーコード

1101-180306

太枠内をご記入の上FAX (03-3264-5675) してください。

2018/3/6 ISS

社名	所在地	〒	電話	()
No.	所属部課(正式名称)	氏名	E-mail アドレス	-
			FAX	()
				-
窓口部署			お支払予定	当日ご持参 銀行振り込み

この講座をお知りになった媒体を○で囲んでください パンフ はがき Eメール ホームページ 検索サイト() その他